

科目名	健康生活看護学実習(精神)			ナンバリング	PEN151	授業形態	実習
対象学年	3年	開講時期	前期後半	科目分類	必修	単位数	2単位
代表教員	茂木泰子	担当教員	鈴木祐子				

授業の概要	精神に健康課題を抱える患者について、身体的、心理的、社会的側面から全人的に理解し、健康レベルに応じた看護の基礎的な実践能力を身につける。本実習では、精神科病棟で精神に健康課題を抱える患者を受け持ち、対象者と援助関係を築き、個別的・具体的な看護計画を立案し、患者の健康レベルに応じた看護過程を展開する。また、保健医療福祉における看護および他職種の役割を理解し、対象者を中心とした他職種との協働と連携のあり方について学修する。						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 精神の健康問題をもつ患者を身体的、心理的、社会的側面から理解できる。 2. 患者との治療的援助関係を形成し、援助者としての自己の課題を明確にできる。 3. 精神の健康問題をもつ患者の健康レベルに応じた看護過程を展開できる。 4. 医療・保健・福祉における看護及び多職種の役割を理解し、対象者を中心とした多職種との協働と連携の在り方を説明できる。 5. 自己の看護を振り返り、精神看護の専門性と価値について考察できる。 						
学習のアドバイス (勉強方法、履修に必要な予備知識など)	<ul style="list-style-type: none"> ・既習科目の基礎知識および看護技術は確実に身につけておくこと。 ・精神概論1、2、精神援助の講義で学んだ内容を踏まえ、主体的に事前学習をすること。 ・臨地実習要項をよく読み実習目的、目標、をはじめ実習方法を理解しておく。不明な点があれば実習前に担当教員に確認する。 ・事前オリエンテーションに必ず参加する。不明な点があれば実習前に担当教員に確認する。 ・実習中に生じた気がかりや心配ごとなどは、ひとりで解決しようとせず担当教員や実習指導者に相談しながら進行すること。 						
ディプロマポリシーとの 関連	【看護学部看護学科のディプロマポリシー】						
	<input type="radio"/>	1. 広い視野と豊かな教養に基づき、看護の担い手としてふさわしいヒューマニズムと倫理観を身につけている。					
	<input type="radio"/>	2. EBN(Evidence Based Nursing: 根拠に基づいた看護)に基づき、自律的に看護を実践することができる。					
	<input type="radio"/>	3. 生命の尊厳と人権を尊重する姿勢を身につけ、多職種と連携・協働することができる。					
	<input type="radio"/>	4. 地域の健康課題に関するニーズをとらえ、災害時の援助活動も含め、積極的に地域貢献できる能力と態度を身につけている。					
	<input type="radio"/>	5. 看護専門職として科学と看護の進展に対応するために、生涯にわたって持続可能な主体的学修ができる。					

標準的な到達レベル(合格ライン)の目安	理想的な到達レベルの目安
別紙および実習要項参照	別紙および実習要項参照

評価方法	成績評価観点						評価割合
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	
定期試験(中間・期末試験)							
小テスト・授業内レポート							
宿題・授業外レポート							
授業態度・授業への参加							
授業態度・授業への参加		○	○	○	○		加点はせず、減点する
実習 (ルーブリック評価表)	○	○	○	○	○		100%

課題、評価のフィードバック	<ol style="list-style-type: none"> 1. 事前課題は、オリエンテーション時に伝える 2. 最終日に評価について面接を行なう
---------------	--

	回次	テーマ	授業内容	備考
授業計画	第1回	オリエンテーション(病院、病棟)、院内施設見学(隔離室含む)、受け持ち患者紹介と情報収集 他	実習施設の概要、特徴などについて説明を受け、施設内の見学 受持ち患者紹介を受けて情報収集 ショートカンファレンスの実施 詳細は実習要項参照	
	第2回	看護の展開	受持ち患者のアセスメント デイケア見学 各病棟でショートカンファレンス	
	第3回	看護の展開	受持ち患者のアセスメント デイケア見学 各病棟でショートカンファレンス	
	第4回	看護の展開	受持ち患者のアセスメント デイケア見学 各病棟でショートカンファレンス	
	第5回	看護の展開	受持ち患者の看護計画立案 実習グループ全体で中間カンファレンス カンファレンスで得た意見をもとに計画修正	
	第6回	看護の展開	受持ち患者の看護計画実施、評価 各病棟でショートカンファレンス	
	第7回	看護の展開	受持ち患者の看護計画実施、評価 各病棟でショートカンファレンス	
	第8回	看護の展開	受持ち患者の看護計画実施、評価 各病棟でショートカンファレンス	
	第9回	看護の展開	受持ち患者の看護計画実施、評価 実習グループ全体で最終カンファレンス	
	第10回	実習総括	記録整理(サマリー作成) 評価面接	
	第11回			
	第12回			
	第13回			
	第14回			
	第15回			
	試験			
授業の進め方	健康生活看護学実習(精神)実習要項参照。			
授業外学習の指示	実習中は受持ち患者の看護展開を行なうために生物学的、精神的、社会的側面から対象者が理解できるように学習をすること。 (授業外学習時間: 毎週 180 分)			

教科書	出口禎子、松本佳子、鷹野朋美編(2017):ナースング・グラフィカ 精神看護学① 情緒発達と精神看護の基本,メディカ出版. 出口禎子、松本佳子、鷹野朋美編(2017):ナースング・グラフィカ 精神看護学精神看護学② 精神障害と看護の実践,メディカ出版.
参考書	萱間 真美(2016):リハビリ・退院支援・地域連携のためのストレングスマデル実践活用術. 医学書院. その他、精神援助の講義で示した参考文献など
参考URLなど	なし
その他	